

ちいき



〈発行〉福生市町長協議会 会長 持田 洋

今号の主な見出し ■1面 新成人へエール ■2面・3面 町会・自治会活動

「活力ある地域へ」



町長協議会では毎年、新成人になられた方へ印鑑ホルダーと町会・自治会を紹介するパンフレットをプレゼントしています。新成人の方々にも地域の活動に興味を持っていただき、皆さんの豊かな創造力で地域を盛り上げていただきたいという想いが込められています。

パンフレットには、若い世代の町会員の方々に伺った話を「町会員の方の声」として掲載し、新成人の方々に紹介しました。

※この事業は「平成30年度東京都地域の底力発展事業助成」対象事業として実施しました。

みんなが集う！町会・自治会活動

市内の32町会・自治会が、より住みやすく豊かな地域づくりのために、お互いに「支えあい」、地域に「にぎわい」と「うるおい」をもたらす、さまざまな活動をしています。

**3つのテーマから
活動内容を紹介します。**

支えあい

◆安全・安心を図る活動

(防犯パトロール、自主防災組織の運営、防災訓練など)

◆子どもたちの健全育成に取り組む活動

(挨拶運動、声かけ運動など)

◆まちを美しくする活動

(資源回収、町内清掃、花いっぱい運動など)

うるおい

◆地域住民の健康づくりを進める活動

(運動会、ラジオ体操、市民総合体育大会への参加など)

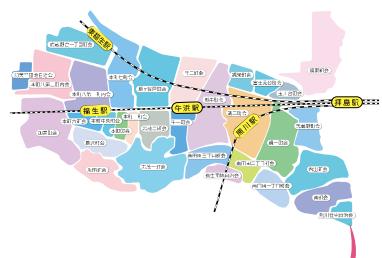
◆福祉に関する活動

(敬老会、募金活動など)

にぎわい

◆イベント活動

(夏祭り、盆踊り、もちつき大会など)



《にぎわい》
団地祭ともちつき大会
熊川住宅自治会 中村弘

熊川住宅自治会としての一番の行事は、8月に行う団地祭です。老人クラブ、こぐまサロン、防犯推進委員の方々の協力を得て開催します。子どもビンゴ大会や、自治会委員を対象にした抽選会を行い、結果に一喜一憂し楽しんでいます。和太鼓の演奏も迫力ある音に圧倒されながらも大いに盛り上がります。その後、和太鼓を体験する場を設けました。そして盆踊りです。太鼓も入つてもらって盆踊りに活気が出ました。若い人が少なくなって団地祭の参加者も減少してきましたが、団地祭を行うことにより人と人とのコミュニケーションが出来、自治会にも関心を持つてもらえばと思います。

12月に行うもちつき大会。各役員がそれぞれ分担し、年配の方も若い方もつき手として参加して和氣あいあいに行なうことが出来まし

た。あんこもちにきなこもち、ごまもちの3種類でしたが、つきたてはやはり美味しい。残らず配り終えました。
こうした行事等で人のふれあいをしていきたいと思いま



【熊川住宅自治会】団地祭

熊牛町会では、現在福生市の三大祭りのうちの一つと言われる「ほたる祭」を毎年6月に開催しています。

昭和40年6月、玉川上水の草むらに驚くほどのゲンジボタルが自然発生し、「この風物を広く大勢の人にも鑑賞してもらつては」という声があがり、これがほたる祭開催のきっかけとなりました。

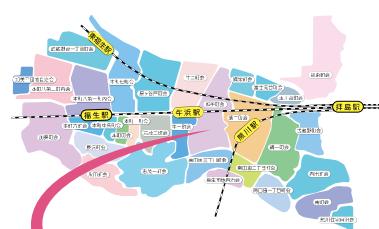
昨年6月には第53回のほたる祭を開催し、来場者は3万人を数えるほどの大きな規模となりました。市の後援、警察・消防等の応援を得ますが、祭の企画、準備から当日の運営等々の全てが町会員主体の手づくりです。このことが、町会員間の連携やコミュニケーション、そして絆を醸成し、確実に地域を活性化させています。

ほたる公園でのほたる鑑賞をメインとし、小・中学生の演奏や地

熊牛町会では、現在福生市の三大祭りのうちの一つと言われる「ほたる祭」を毎年6月に開催しています。

昭和40年6月、玉川上水の草むらに驚くほどのゲンジボタルが自然発生し、「この風物を広く大勢の人にも鑑賞してもらつては」という声があがり、これがほたる祭開催のきっかけとなりました。

昨年6月には第53回のほたる祭を開催し、来場者は3万人を数えるほどの大きな規模となりました。市の後援、警察・消防等の応援を得ますが、祭の企画、準備から当日の運営等々の全てが町会員主体の手づくりです。このことが、町会員間の連携やコミュニケーション、そして絆を醸成し、確実に地域を活性化させています。



《にぎわい》 ほたる祭

熊川牛浜町会 小林陽一



【熊川牛浜町会】ほたる祭

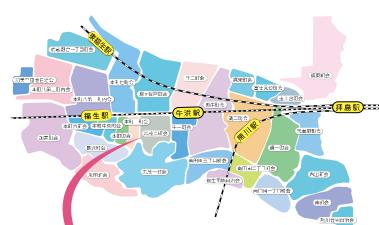
熊牛町会では、ほたる祭以外でも夏祭りや納涼踊り、日帰り防災研修や毎月の防犯パトロール等、近所同士や家族で参加しやすい行事に力を入れることで、地域のつながりをより強くし、老若男女を問わず安心して暮らせる地域づくりに向けて日々活動しています。

域の皆さんによる演芸・模擬店、ほたるをテーマとした児童の絵画展など、様々な催し物でこのほたる祭を盛り上げています。まさに地域からの情報発信の一翼を担っています。

志茂第二町会は、青梅線と南は牛浜第一町会、北は本町第一町会と接し、西は栄通りを超えて清岩院墓地に至る地域にあり、生活道路がほぼ碁盤の目のように走っている大変コンパクトな町会です。町会活動の基本は何といつても町会員相互の親睦と交流ですが、夏の盆踊り大会では、夕闇が迫ると多数の提灯の灯りのもとで小さなお子さんから高齢者まで時間を忘れて踊ります。踊りの合間にには、よさこいソーラン会の熱気溢れる演技が披露されます。

祭礼では、囃子連による山車の上から笛や太鼓や鉦の賑やかな音に合わせて、神輿を担ぐ若者の熱気で町内は興奮のるつぼと化します。

志茂公園の神酒所では、青少年による模擬店がたこ焼



《にぎわい》 町会行事

志茂第二町会 関根孝明



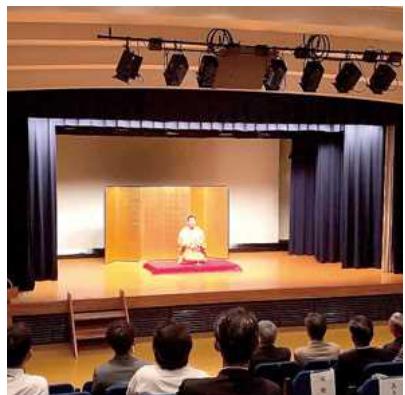
【志茂第二町会】大盆あげ大会

き、焼きそば、かき氷等の提供に汗だくとなつて取り組み、昼の休息時には神酒所前で志茂二バンドによる演奏が繰り広げられます。安全安心な地域づくりを推進するため防災研修や防犯パトロールを行い、資源活用の観点から資源回収にも力を入れています。

団体活動では、大盆会は「大盆あげ大会」に向けて大盆づくりに早くから取り組み、福寿会（老人会）は、環境美化を図るため、志茂公園の花植に取り組み、また、新しいカラオケセットの導入により、親睦と交流が一層深まることがあるでしょう。



地域の活動



ティセンターで西多摩地区自治会・町内会連合会長会主催の研修会が行われ、福生市からは9名の町会長が参加しました。

研修会では落語家の立川談之助（たてかわだんのすけ）さんが講師として「落語に学ぶ豊かな人間関係」町内会・自治会の会員増と活性化のために「」を演題としてお話してくださいました。

落語を通じて、人ととのつながりの大ささを学んだ研修会となりました。



町長協議会では、引き続き、挨拶から、地域との交流が始まることがあると思います。笑顔で挨拶をして、気持ちの良いコミュニケーションを図りました。

内全5駅で、福生市町長協議会における「あいさつ運動」を実施しました。

役所に隣接する羽村市コミュニ

平成30年11月28日（水）早朝、市内全5駅で、福生市町長協議会における「あいさつ運動」を実施しました。

第一町会が主催する「どんど焼き」が、多摩川の河川敷で行われました。

青空に向かって大きな赤い火柱

が勢いよく燃え上がり、集まつた人たちで無病息災を願いました。



広告掲載スペース

広告掲載スペース

西多摩地区自治会・町内会連合会長会 定例研修会

平成30年11月28日（水）実施しました！

志茂第一町会 「どんど焼き」

4

会報「ちいき」編集委員（平成31年2月）

編集委員長 田村 光男

編集委員 志茂 信吾・森田 哲哉

関根 孝明・古谷 清一

地域の活動に参加してみませんか？

町会・自治会のイベント情報を知りたい場合は、地域の町会・自治会関係者または福生市協働推進課（電話551-1590）までお問い合わせください。